

為サントスルヲ勞働一切ノ要求カ爭議ト化シ其爭議カ常ニ惡化
スルニテラサレハ目的ノ達成不可能トスルハ我等穩健ヲ以テ終始スル
モノ矣ニ前途ヲ悲觀セサルヲ得ス是レ我國産業界ニ於ケル制
度ノ不完備トハ勞資間ノ公德心寡キ、致ストモ口依テ我等ハ政
府當局ニ向テ勞働法規ノ編成ヲ促シ一方勞資間ニ工場委員
制度ノ普及ヲ回リ以テ一ハ法ニ依テ爭議ヲ根絶セシメ一ハ相互
ノ公德心ヲ以テ問題ヲ平和義ニ解決スルノ途ヲ立テントス

今ヤ時勢ノ變轉只ナラサル今日苟モ輕率妄動自ラ破滅ヲ招
リカ如キハ決シテ賢者ノ採ルヘキ途ニアラズ須ラク大勢ノ偏向ヲ達
觀シテ除口ニ最善ノ方途ヲ求ムヘキナリ爰ニ於テ我日本勞働組

合ハ全國各地ニアル穩健ナル團體ヲ訪問シ互ニ意見ヲ交換シテ
我等ノ進路ヲ定メ小異ヲ棄テ大同ニ團結シ其結束ヲ堅
固ニシテ共ニ扶助シテ以テ此難局ニ處セントス此趣意ヲ以テ衆
組合幹部負近々貴會ヲ訪問可致候間櫻花ナリ意見ノ交
換ヲ得度右豫メ貴意ヲ得候敬具

大正十年八月一日
東京 日本勞働組合聯盟會

進テ大同盟ノ規約ハ各團體ヨリ委員ヲ選出シテ大會ヲ東
京ニ開キ決定スル事トシ 敬度候